

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード:130026

母性看護方法論 Maternity Nursing

担当教員	桶作 梢、米田昌代、原真佑子										
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。										
開講年次	3年次前期	単位数	2				授業形態	講義			
必修・選択	必修	時間数	30								
該当ディプロマ・ポリシー	(1)	(2)	○	(3)	(4)	◎	(5)	(6)			
Keywords	妊娠、分娩、産褥、胎児、新生児、家族、セルフケア、移行期										
学習目的・目標	<p>【目的】</p> <p>①妊娠・分娩・産褥期の身体的、心理・社会的変化および胎児の成長発達と新生児の生理的特徴について理解する。</p> <p>②妊娠・分娩・産褥経過中にみられる異常、妊婦・産婦・褥婦および胎児・新生児におこる問題について理解する。</p> <p>③子どもの誕生により新たな家族関係へと移行する時期にある女性とその家族を中心に捉え、当事者の意思決定とセルフケア能力を尊重し、看護の必要性を考える。</p> <p>【目標】</p> <p>1. 妊娠期の母体の変化と心理・社会的特性、胎児の成長発達、妊娠経過中の異常と妊婦に起こる問題について説明できる。</p> <p>2. 分娩機序と分娩経過、産婦の身体的、心理・社会的変化、分娩経過中の異常と産婦に起こる問題について説明できる。</p> <p>3. 褥婦の身体的、心理・社会的変化と母乳栄養・乳汁分泌のメカニズム、産褥経過中にみられる異常と褥婦に起こる問題について説明できる。</p> <p>4. 新生児の生理的特徴と母体外生活適応過程、胎児・新生児に起こる問題について説明できる。</p> <p>5. 順調な経過をたどる妊婦・産婦・褥婦および胎児・新生児の看護について説明できる。</p> <p>6. 特別なニーズをもつ妊婦・産婦・褥婦および胎児・新生児の看護について説明できる。</p> <p>7. 母子関係確立および家族役割構築のための看護について説明できる。</p>										
授業計画・内容											
回	内容										
1-5	ガイダンス 妊娠期 1) 妊娠期の母体の変化と胎児の成長発達 2) 妊婦の心理・社会的特性 3) 順調な妊娠経過のための看護 4) ハイリスク妊娠と妊娠期の異常とその看護										
6-8	分娩期 1) 分娩機序と分娩経過 2) 分娩期の身体的変化と心理・社会的変化 3) 順調な分娩経過のための看護 4) 分娩期の異常とその看護 5) 周産期医療システム										
9-11	産褥期 1) 産褥期の身体的変化と心理・社会的変化 2) 母乳栄養、乳汁分泌のメカニズム 3) 順調な産褥経過のための看護 4) 産褥期の異常とその看護 5) 母子関係確立および家族役割機能への援助 6) 帝王切開後の褥婦										
12-13	新生児期 1) 新生児の生理的特徴 2) 新生児の母体外生活適応過程 3) 順調な胎外生活適応のための看護 4) 新生児期の異常とその看護										
14	赤ちゃんを亡くした母親・家族へのグリーフケア										
15	SRHR:性と生殖に関する健康と権利に関する講座										
教科書	小林康江他編:ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践(メディカ出版) 荒木奈緒他編:ナーシング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術(メディカ出版)										
参考図書等	中込さとし他編:ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護(メディカ出版) 森 恵美他:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学2 母性看護学各論(医学書院) 仁志田博司編:新生児学入門(医学書院) 荒木勤:最新産科学 正常編(文光堂) 荒木勤:最新産科学 異常編(文光堂) 医療情報科学研究所編:病気がみえる vol.10 産科(MEDIC MEDIA) その他適宜提示予定										
評価指標	期末試験 60% 授業で課されるレポートまたは小テスト 40%										
関連科目	疾病・障害論Ⅳ(母性)、母性看護学概論、母性看護方法論演習、母性看護学実習										

教員から学生への
メッセージ

妊娠の成立から出産、新生児が胎外生活に適応する仕組みを知ると、その精巧さと神秘に感銘を受けます。問題なく上手くいく、順調に経過することを支えるという看護の楽しさを皆さんと共有したいと思います。